

2015 年度前期 授業評価アンケート結果に対するコメント

—文学研究科—

文学研究科長 上野英二

この種のアンケートがどれほど真を伝えるものか、疑問無しとしないが、集計結果からは、基本的には例年と同じ傾向が看取される。「総合的にこの授業を評価できる」の設問の平均値は 4.83 と昨年とほぼ同じで、非常に高い評価を受けている。「教員の話し方は明瞭であった」、「授業への教員の熱意を感じた」、「教員は発言・議論等授業参加を積極的に促した」といった設問が、4.8 以上の評価を受け、授業が円滑かつ活発に行われている様子がうかがえる。「予習または復習をよくした」が前回の 4.20 から 4.33 に上がったことは喜ぶべきことか。